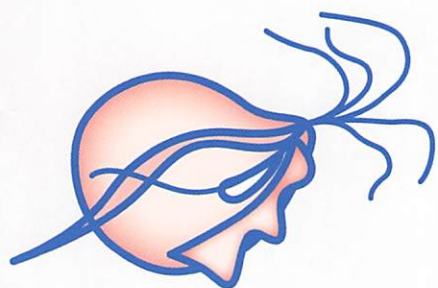


STIの検査に役立つ情報をお届け!

# 性感染症検査 News <sup>Vol.1</sup>

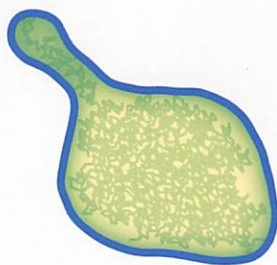
— 新たな性感染症遺伝子検査項目がついに登場 —

2022年6月1日より保険適用!



膣トリコモナス核酸検出検査

膣トリコモナス(TV)は世界で最も感染者数の多い性感染症の原因であり、男性では尿



マイコプラズマ・ジェニタリウム核酸検出検査

道炎、女性では膣内のかゆみやただれを引き起こす原虫です。診断に有用とされている培

養法では結果を得るまでに1週間以上を要することから、TV症に対する高感度かつ迅速な確定診断法の確立が強く望まれていました。

また、マイコプラズマ・ジェニタリウム(MG)は尿道炎、子宮頸管炎や骨盤内炎症性疾患を引き起こす細菌であり、確立した診断法や体外診断用医薬品がないことによって薬剤耐性菌が増加、高頻度で症状の持続、再発をきたすことが問題として挙げられます。

そのため、臨床性能が担保された体外診断用医薬品によるMG感染症の診断方法の確立がアンメットニーズになっていました。

そんな中、新たな性感染症遺伝子検査試薬であるコバス TV/MGが登場し、2022年6月より新規保険適用となりました。

## 保険適用の内容

膣トリコモナス感染症、マイコプラズマ・ジェニタリウムの感染が疑われる場合にリアルタイムPCR法で検査ができます。

またこの2つの新しい検査は2022年6月1日より保険適用されました。



保険適用上の区分	E3(新項目)
測定項目	膣トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出
測定方法	リアルタイムPCR法
点数	350点
留意事項	(1)膣トリコモナス核酸及びマイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出は、リアルタイムPCR法により、膣トリコモナス感染症を疑う患者であって、鏡検が陰性又は実施できない者又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して治療法の選択のために実施した場合及び膣トリコモナス感染症又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して治療効果判定のために実施した場合に算定する。

Roche